

## 平成 30 年度がん相談機能向上アンケート調査結果(概要)

熊本県では、がん患者様及びそのご家族様の療養生活の維持向上に向けた取り組みの充実のためアンケート調査を実施しました。

### 1 調査の概要

#### (1) 目的

熊本県内のがん相談機能の現状を把握するとともに、課題・ニーズを把握し、今後増加が見込まれる、がん患者及び家族に対する、適正ながん情報、相談の場の提供が行われ、療養生活の質の維持向上を図る施策の検討を行う目的で実施する。

#### (2) 対象

- ① 熊本県がん診療連携拠点病院内医療従事者（医師、医師以外の医療従事者）  
約 400 名程度
- ② 熊本県内の医療機関（病院・診療所、病院 195 機関、1, 218 診療所）  
1, 413 医療機関
- ③ 一般（がん診療連携拠点病院の患者及び家族と市民公開講座来場者）  
約 400 名程度

#### (3) 期間

6ヶ月間（平成30年6月1日～平成30年11月30日）

#### (4) 調査方法

記述は質問項目別に選択及び自由記載方式のアンケートを実施。

- ① がん診療連携拠点病院内医療従事者には、がん相談支援センターより配布してもらう。
- ② 県内の医療機関には郵送で依頼、書面で内容等を理解し同意を頂けた施設のみ協力してもらう。
- ③ がん診療連携拠点病院に来院または入院している方に対しては、がん専門相談員が資料 1 を使い、アンケートの目的を説明し、協力を得られた場合、無記名で回答し投函してもらう。市民公開講座来場者には、来場時に依頼書を同封したアンケートを配布し、無記名で回答し投函してもらう。

回収したアンケート解答用紙はがん相談員サポートセンターで集計。

#### (5) アンケート内容

がん相談等に関する現状把握、課題・ニーズの把握

### 2 調査結果の概要

#### 【拠点病院内医療従事者向け】

- 回答者の環境：回答率 76.9%（対象 18 医療機関 360 名／回答者 277 名）
  - ・職種は医師が 21.3%、看護師が 51.3%、その他が 27.1%
  - ・回答者の 77.3% ががん患者と接する機会がある。
- 主な結果 ※（）内の数値は、前回（H27）調査時の数値。
  - ・がん相談支援センターの認知度は、88.8%（81.0%）で、前回から、7.8%増加している。
  - ・業務内容の認知度は、59.6%（57.4%）、連携の経験は 41.2%（37.7%）であり、前回から大きな変化は見られなかった。

- ・がん相談支援センターに求めるものは、①経済的負担と支援について、②療養生活の過ごし方、③社会との関わり（就労または就学）の順であり、「経済的負担と支援について」が、前回同様最も多かった。
- ・がんサロンの認知度は 94.9% (98.0%)、ピアサポートを必要と思う人は 88.8% (90.8%) であり、前回から大きな変化は見られなかった。

#### 【県内の医療機関向け】

- 回答者の環境：回答率 42.9% (対象 1413 医療機関 / 回答 607 機関)
  - ・職種は医師が 79.1%、看護師が 13.3%、その他が 7.6%
  - ・回答者の 77.9% が、がん患者と接する機会がある。
- 主な結果 ※ ( ) 内の数値は、前回 (H27) 調査時の数値。
  - ・がん相談支援センターの認知度は、56.5% (50.1%) で、前回から 6.4% 増加している。
  - ・業務内容の認知度は 33.1% (29.1%)、連携の経験は 6.1% (6.5%) であり、前回とあまり変わらない。
  - ・がん相談支援センターに求めるものは、①経済的負担と支援について②療養生活の過ごし方③社会との関わり（就労または就学）の順であり、前回と比べ「社会との関わり（就労または就学）」の順位が 7 位から 3 位に上昇した。
  - ・がんサロンの認知度は 65.2% (61.7%)、ピアサポートを必要と思う人は 64.5% (66.1%) であり、前回から大きな変化は見られなかった。

#### 【一般向け】

- 回答者の環境：回答率 38.6% (対象一般の方 520 名：拠点病院内一般の方 360 名、市民公開講座来場者 160 名 / 回答者 201 名)
  - ・回答者は 40 代～70 代が多く、64.7% が女性。85.3% の回答者が、がん患者・がん患者の家族。
- 主な結果 ※ ( ) 内の数値は、前回 (H27) 調査時の数値。
  - ・がん相談支援センターの認知度は、59.7% (52.5%) で前回から 7.2% 増加している。
  - ・いつ頃知ったかは、治療中が 50.0% (51.1%)、治療後が 15.8% (16.8%)、告知時は 15.0% (7.4%) であり、告知時が前回から 7.6% 増加している。
  - ・利用したことがあるのは 48.3% (41.1%) であり、前回のから 7.2% 増加している。
  - ・がん相談支援センターで利用したいサービスは①がんの検査・治療・副作用②療養生活の過ごし方③経済的負担と支援についての順であり、前回と比べて上位項目に変化はなかった。
  - ・がん相談窓口の情報提供があったのは 46.3% (40.3%) であり、前回のから 6.0% 増加している。
  - ・がん相談窓口の情報提供者はのうち医師が 30.2% (22.9%) であり、前回と比べて 7.3% 増加している。
  - ・がんサロンの認知度は 65.7% (64.1%)、参加者は 27.9% (27.1%) であり、前回とあまり変わらない。
  - ・おしゃべり相談室の認知度は 23.4% (22.6%) と前回とあまり変わらず、利用したことがあるのは 6.5% (11.0%) と減少している。
  - ・がん相談支援センター、がんサロン、おしゃべり相談室とも利用した方のうち役に立ったと答えた方は 8 割を超えた。